

「ダイショによる緑のカーテン実験報告」 要旨

(速報版)

※ 配布資料

- ・ ダイショ（大薯）による「緑のカーテン」成長の様子
- ・ ダイショによる「緑のカーテン」実験報告について
- ・ ダイショグリーンカーテンの遮熱効果について
- ・ ダイショ販売所情報
- ・ ダイショ栽培暦
- ・ ダイショの取り扱いについて

※ 本来ならば、実験に取り組んだ京都府立大学資源植物学研究室の学生に報告をしていただくのが望ましいが卒論製作の時期で多忙のため、代理として、農場事務室職員から報告させていただいた。（この職員は日常の灌水を担当し、また、緑のカーテンではないが自宅でダイショをプランター栽培していた。）

1 取り組み総括

- ・ 大変反響があり、京都新聞をはじめ、全国紙4紙と日本農業新聞に掲載された。また、NHK京都放送局でも放送された。
- ・ 資料「成長の様子」にある通り、十分に「緑のカーテン」として成長した。また、予想外に大きなイモも取れた。

2 「緑のカーテン」とするための条件等

- ・ 苗から芽が複数芽吹くので、遅れて出た芽を左右にずらして誘引すると、カーテンの形態として成長する。
- ・ （畑栽培のほぼ雨水のみで大丈夫という栽培法とは異なり）ツルを早い段階から伸ばすには、十分に灌水してやる方が良い。

3 「緑のカーテン」利用の場合の栽培法について

- ・ プランター … 排水が良ければ、必ずしもイモ専用のものでなくてよい。
苗を10cm程埋めてやる必要があり、かつ、イモが肥大する場所を確保するためには深さ25cm程度あったほうが、イモは大きくなる。
園芸用土が入っていた袋（20リットル）を使用する場合は、底の左右を切って、排水口を作る。
なお、イモの収穫の際、プランター栽培では1kgほどにもなる大きなイモの成長による内圧等で土が固まるので、上から土を掘ってイモを収穫するのは手間がかかる。
最も簡単な収穫法はプランターをひっくり返して土を抜き取り、そこから土を崩してイモを掘り当てる方法である。よってその事を考

慮してプランターの大きさを決めることを推奨する。

40リットルの土は、かなり重い。

- ・ ネット … 高さ3 m程度で仕立てる場合、ツル・葉の重さは3株で5 kg前後となるので、その荷重に耐えられればよい。
- ・ 苗の価格 … 附属農場での平成23年の販売価格は1苗が70円
- ・ 肥料 … 畑栽培では元肥のみでよいが、プランター栽培で十分に灌水する場合は肥料が水で流れてしまうので、追肥推奨。ただ、追肥に神経質になる必要はない。
- ・ 灌水 … プランターは内部に熱がこもりやすく、また乾燥しやすいので、水切れに注意して十分に灌水する。
- ・ 乾燥防止 … 他の植物と同様に、アスファルト等の上に置く場合は、日光の照り返しによるプランター内部の温度上昇を防ぐ工夫（スノコを下に敷く等）をしたほうがよい。
土の表面の乾燥防止には、ウッドチップを土の上に敷き詰めるなどの工夫をする。
- ・ 設置場所 … 半日、日が当たれば育つ（東向きの半日陰でも、西日さす場所でも）
- ・ 病虫害 … 基本的に排水が良ければ病害はほとんど発生しない。
栽培中は花が咲かないので蜂等は基本的に寄ってこない。
- ・ 難易度 … 主芽や脇芽を摘心する必要はない。
- ・ 遮光効果 … 葉が厚く大きいため、遮光効果は充分にある。今回の実験では日中の温度差は最大で10℃、湿度差は20℃に達した。
横に繁茂していかないのが室内が真っ暗になるということはない。
- ・ 景観 … 葉がハート形をしていて可愛い。
ネットの上端に達したツルは、あとは下向きに垂れ下がるが下向きにはそれほど伸びていかない。
むかごはつかない。花は京都の気候では咲かない。
なお、上端で揃えようと主芽を摘心すると、脇芽が複数でてくるので、景観的には摘心してもしなくてもあまり変わらない。
- ・ 期間 … 6月の定植以降、イモを取りたいのであれば11月10日頃までそのまましておく必要がある。
なお、スペースがあればネットごと下にずらして（地這いふうにし）採光を確保すれば良い。

4 (参考) ダイショ販売所情報

- ・ 見たり聞いたりしたところでは、別紙の販売所でダイショのイモを販売している。
- ・ なお、直売所では、大きすぎるイモは値段が高くなりがちなのと、家族で食べきれないという理由で敬遠される傾向がある。

ある販売所では大きなイモはカットし、ラップでくるんで常温で販売しているとの話であった（切り口が褐変してもその部分をカットすれば中は大丈夫）。ただ、カット販売した場合、イモの腐りが心配で値段は下げざるをえないとのことだった。